

望年山行（幹事グループ）山行報告書

（山域） 奥多摩（惣岳山・馬頭刈山）

（コース） 下記個別山行報告参照

（日時） 12月10日（土曜日）～12月11日（日曜日）

（天候） 下記個別山行報告参照

（参加者） CL：内堀（記録）・江橋・小宮山

（山行タイム） 下記個別山行報告参照

（惣岳山山行報告）

（日時） 12月10日（土）

（コース） 軍畑園地駐車場～平溝尾根～惣岳山～沢井尾根～軍畑園地駐車場

（天候） 晴れ

（山行タイム） 駐車場 7:25～惣岳山 9:20～駐車場 11:00

幹事グループは、宴会準備があるため自宅 3:40 出発して、江橋宅を 4:00 頃、東関道に乗り、幕張PAで小宮山さんと待合せを行い、出発する。この時間の高速は順調に進み、八王子 IC を降りて、軍畑駐車場に向かうが、6:20 頃到着したが、この無料駐車場が 7:00 からの開場となっていた。ウロウロして 20-30 分駐車場を探すが見つからず、セブンに戻り、端の駐車場で朝食を取り、7:00 を過ぎて駐車場に向かい無事駐車する。出発準備を整えいざ出発するが、ガイド・携帯を忘れてしまい戻り、回収する。気を取り直して、橋を渡り軍畑駅方面に向かい、手前を左折して東光寺の裏山にある、お墓を上がって行くと祠があり、目印を発見。ここからが登山ポイントのようである。このコースは一応バリエーションになっており、ガイドと携帯GPSを使い、進む。平溝尾根は惣岳山まで向かう主脈尾根であり、途中様々な個所から尾根がぶつかり、尾根が複雑に入り組んでおり、ヤブは少ないものの歩く道はかなり付いている。途中、何カ所か薄い箇所があり、尾根に沿って進む。初めに鉄塔を過ぎ、東京電力の標識（古里線）を進むと、伐採地（片側の見晴らしが良い）を抜ける。この場所は風の通りで寒さを感じる。

急登を進むと看板が出て来て一般登山道に出た。惣岳山まで登山道は巻いて登るため、直登コースを進み山頂に到着する。予定直より早く着いた。山頂では2人の方とあったが、何れも山頂の景色が悪い事と、高水三山を目指すため、長くは留まらず足早に姿を消していった。

我々も休憩後は、元の看板がある場所まで戻り、右側の沢井尾根を進む。この尾根も複雑に尾根が何本も来るためGPSを確認しながら、初めに右側・中央、その後は左側の尾根を進む、何カ所か岩場があり、慎重に下る。最後に右側の尾根を進む。途中の目印はやはり東京電力の標識と鉄塔を目印に降りると、民家の脇を進み、JR奥多摩線を潜り進むと国道の青梅街道にぶつかり、左折して軍畑大橋を渡り、元の駐車場に到着した。無事帰れてよかった。宴会の準備が早く出来そうである。今回このコースは比較的歩きやすく、明瞭な道が多かった。部分的には全くなく、尾根を見つけながら進む事に。ヤブがほとんどなく冬枯れで葉っぱが落ち、木立の間から見える景色は意外と見晴の良い物であると感じた。これからの時期に登る山であるかな。

車に乗り日の出IC側にある「阿伎留の四季」で温泉を流す。90分で650円と格安。町のど真ん中の温泉地でした。お風呂も綺麗で行き届いたサービスで清潔感ある場所でした。お風呂後は、ホットもっと秋川店に向かい、パーティ用お寿司を受け取り、ロッジ神戸岩に向かうが、昼食を食べていない為、武蔵五日市駅周辺の蕎麦屋に入る。新そばに惹かれました。何か言いたそうな主人が注文を受け、江橋さんは一本挽き蕎麦・小宮山さんは田舎蕎麦、私はブレンド蕎麦（普通の物を注文、蕎麦は美味しかったのですが、つけ汁が側に負けていたようです。得てして蕎麦ばかり一生懸命し過ぎ、汁まで頭が回っていませんでしたよね。「返し」しているか？疑問蕎麦を食べ得た後は、近くのスーパーで氷、ジュース・牛乳を購入してロッジ神戸岩に向かう。途中、時田さんより吉瀬さんの車がいたずらされパンクさせられたとの事。酷いことするね。

我々は14:30頃、ロッジに到着して受付を済ませ、部屋にて宴会準備を行うが、3人のため中々進まず、時間だけが過ぎて行くが、途中から色々な方にご支援を頂きながら、無事宴会が5:00過ぎから行う事が出来た。皆様、お酒が進みにつれてボルテージは最高潮に、ゲームでストローによるビール早飲みを行う、あまりにも早く、平野会長が1位、2位もアニキと平野家強し、ビール好きが上位独占する。普段遅くまで飲んでる会長はビール早飲みから、途中退場となり2Fに行ってしまいました。次に、割り箸による豆拾いは酒が入らない方が上位を独占する。その後は、宴会が進み1人抜け2人抜けとドンドン2Fに吸い込まれていく。私も10人なる頃、寝袋を出して1Fの端で寝てしまいました。これにて終了。





(馬頭刈山山行報告)

(日時) 12月10日(日)

(コース) 駐車場～茅倉尾根～916mピーク～馬頭刈山～泉沢尾根～駐車場

(天候) 晴れ

(山行タイム) 駐車場 9:20～916mピーク 11:20～馬頭刈山 12:00～駐車場 13:15

翌朝、早々に起きてしまい時間は5:30頃である。寝られない為、早々にお湯を沸かし、昨日余った、おでん・みそ汁のコンロを付ける。早い方は6:00頃にはドンドン1F降りて来る。ぼーとしている内にお湯が沸き、おでん・みそ汁も食べられる状態になる。早目におでん・みそ汁を食べて、元気を取り戻すが中々、復活しない。飲み過ぎかな？

食事もあり片付けに入り、皆様のお手伝いにより順調に進む。各コースメンバーが出た後に、歯を磨き、部屋を再度確認する。トイレがかなり酷い状態に汚れていた。このままでは、ちば山出入り禁止となりそうである。このため買った、ゴム手袋をつけ小宮山さんに掃除して頂いた。面目が保たれました。皆様、大人の対応を、トイレは綺麗に使いましょう。

全て終了後、管理棟に向かい処理を済ませ、和田向バス停前のトイレ用駐車場に向かう。

ここで、登山準備を行う。時計を見ると、9:20頃少し遅めである。

ガイドを見ながら和田向橋を渡り登山道入り口を探す、過ぎてしまい元に戻る。橋を渡ってから、100mもしないところにあった。入り口は塞がれていた。登り口は強いヤブと急登が続く、ヤブも笹竹のため、意外としつこい。更に進むと、何か良い道を発見。ようやく尾根道と思われる道を発見する。約10分程度の格闘で寒い体が一気に熱い準備体操になった。

尾根を回り込みながら巻いて、尾根を一気に進むと祠を発見(ここに間違いなさそうである。)

この尾根は一本道で迷わない。尾根に沿ってドンドン急登を登り続ける。更にピークが出て来て、ここがどうも茅倉尾根主脈であるようである。右側に進み更に尾根を登り続ける。かなりの急勾配である。昨日がソフトで本日がハードである。途中、熊と見られる糞を発見(乾いていた。この道は冬しか通れないと思う。昨日の道と違いほとんど歩いていなさそうである。道が少し悪い。最後の急登を登ると916mピークの登山道に出た。休憩なしで登ってきたため、ここで、軽い昼食を食べて出発する。馬頭刈山に向かう30分程度で到着して記念撮影を行う。山頂ではカップルと山岳会10名程度のメンバーが占領していた。風は冷たく、日陰を避け日当で体を温める。馬頭刈山から元来た道を少し戻り、標識を見つけここを左折して進む。この泉沢尾根は標識やら道がかなり明瞭で歩きやすく、急坂はジグザグに切っている。昔登山道としてあった事も頷ける。かなりの急坂も一気に進み、途中標識に従い進むと、ビックリするくらい早く舗装道に到着する。舗装道も初めは急坂であるが、進むと傾斜が緩くなり、和田向橋が見えホットして、入山ポイントも通過して、駐車場に到着した。標高差700m以上あったが意外と早く登れ、下山出来たようである。泉沢尾根は登り・下りも歩きやすい場所であった。

下山後は、瀬音の湯で汗を流し上がると岩組パーティが入って来た。温泉後は、八王子ICを目指し、途中、新滝山街道で八王子IC側にある、24時間営業のお店に入り、ラーメン・餃子を食べ、栄養を補給して、帰宅の途に。この店は以前から気になっていた店で一度は入りたいと思っていた。夜は閑散としているが、日中は待ち時間が必要なくらい混んでいた。夕方です。南京亭お腹一杯になったおかげで睡魔と闘いながら、スルメを食べ会事務所に向かう。ここで、クーラBOX・コンロ・銀マット・酒・食材等を整理して、ようやく終了である。

小宮山さんと別れて、江橋さんをお送りして自宅に無事到着した。長い2日間であった。

望年山行が滞りなく進められたことが、皆様の怪我もなく出来たことが良かった。





以上